

会員数(55・8現在)

逗子地区 154名

葉山地区 222名

大船地区 64名

合計 440名

# 吟道月報

認可 日本詩吟学院 風岳会  
認可 神奈川 碩心会

55・8月

才97号

発行 者 幸 岳風  
根 岸 編 村 山  
中 杉 山 雪

## 吟と私

沼間支部

清

水

耀

風

私の務めていた職場は愛吟家が多く又吟を教える先生も十名位いられたと思います。私も吟を聞く機会が多く吟に対する好奇心はあっても自分から進んで吟の会に入会するだけの勇氣はありませんでした。再三知人又は部下の方々からも勤められ、約一年位すぎてもらうやく決心がつき入会、教えていたただく事になりました。当初の先生は新田先生、根岸先生、加藤先生、横須賀の中村先生が私達グループの担当の先生でした。務めの関係上私は思っ様に練習ができません同期生の方々に付いてゆく事ができなくなり、失望の余り止めようかと断念した事も何回もあり

ました。先輩諸兄がよくアトバイ支部の森田さん、沼間支部の松岡さんは私達の一年先輩でしたが格別のお世話をいただいた事は忘れられません。韻読入りの吟を始めて聞いたのが根岸先生の正気の歌でした。教えていたただいてもその音階がお寺の坊さんのお経を聞いているような気がしてとても練習をして覚える気にもなりませんでした。其の後務めの関係で沼間支部に転入して三井先生の教えを受けておりますが、中伝の時病気に入り入院、次いで二度目の入院の時葉山の矢島悦風さんの御主人と同居になり、私は毎日病院の屋上

に行つて吟の練習をし、又テープで韻読入りの吟も聞く様になり、韻読入りの吟の味が多少解つてきた様な気がしてきました。

前後七ヶ月にわたる入院、退院後も健康勝れず約一年以上も教場に行く事ができず専ら自宅にてテープによる練習法しかなく残念でたまりませんでした。幸い皆様方の激励と御援助により最近健康状態も快方に向つております。

現在私が最も好む吟は韻読入りの吟ですが特に『白絹の挽歌』に和音が好きですので毎日何回か練習をするのが私の日課の一つになつております。生来私は感情に走り易い性質でありますのでこの吟を始めると、シベリアの原野、ナホトカ 舞鶴港の岸壁に佇む奥さんの姿、御主人を慕う和歌の意味が連想されて私の脳裡に走馬灯の様に出て無意識のうち涙が出て声がつまり出なくなる事が度々あります。

病氣後特に物覚えが悪くなつておりますの

で早期健康快復を計ると同時に吟の発展のためにも一層吟道に精進したいと思ひます。

### ● 秋季査定のお知らせ 許証部

と き 9月14日(日) 10時より

と ころ 逗子図書館ホール

● 三ヶ所にて十時に同時スタートしますので各自の受付票により番号を確認おくれぬ様  
● 受付票には必ず全項目記入して下さい。

初伝・中伝・奥伝を受けられる方は希望雅号を必ず記入して下さい。

● 査定料(四百円)は支部毎にまとめ審査当日迄に許証部中村迄

● 許証部(左記)は支部毎にまとめ9月30日迄に許証部迄

初段・二段：千円 初伝：二千五百円

三段・四段：千五百円 中伝：五千円

五段・六段：三千円 奥伝：一万円

(以上許証関係事務処理上御協力下さる様お願い致します)

吟道誌 四七年八月号より

詩歌漫筆……久染岳道より

夏休み……久々に古い吟道誌などめくって、いま  
見たら右の様に見出しが目に入りました、紙  
面の関係上抜萃して書きます、参考までに、

(舟由良の港に至る)

才四句「不夢冢郷夢帝京」の末字を郷とまち  
がえる人があるが、帝京が正しく中国にも駱  
賓王の作に「帝京篇」がある、

(桜花の詞)

才八句「欲望芳山路更賒」の賒の右側は余で  
はなくがまがたの下は示を書くのが正しい、

(論流)

才六句「南嶼停囚独竊生」の停を浮とかき違  
える人がある、

(常盤孤を抱くの図)

才二句「呱呱竟乳若為情」の呱の口喙の字は  
小児の泣声、子篇はみなしごの意、

(芳野懐古)

才一句「古陵松柏吼天賊の賊は犬が三頭走っ

ている姿に風を加えたもので「ぼやてつむじかど」の意

プロフィール……森田曉風さん

もう七、八年も前になりましたよっか？、図

書館ホールでの碩心会の温習会か何かの折に

「娑婆歌」を合吟された御夫妻が居られました、

すっかりれた吟調で御二人の気持もひたり

合い誠に良い感じで拜聴致しました、

その御二人が森田嶺風、曉風さん御夫妻でレ

た、大変誠実なお人柄で、奥様の曉風さんは

大船Bの支部長として又指導者として献身的

に皆様の御世話をして居られます、

地元の老人会の会長にも推され卓越したアイ

デアを次々と思いつかぬ実行なさって会員の

皆さんを引っ張って居られる由、

勉強家で御世話好き、博識で話題が豊富、骨

惜しみれない方、それが皆さんに好かれ慕わ

れる原因だと存じます、

益々ご精進を期待して居ります、

千葉香岳

詩吟で応答

玄閑の戸締りには常日頃から気をつけたいもの、加藤槍風・紅山御夫妻は御主人のお帰りのおそい時鍵をかけて待ち「只今」「お帰りなさい」の言葉の替りに玄閑の外で御主人が「去年のー」と吟ずると奥さんが内側から「今夜ー」と答えられるそうなの。

入門間もなくの頃はそれほど吟に熱していて、子供達も自然に詩吟を覚えられたとか。「そんな頃もありました、初心忘るべからずでやらなくては駄目ですネー」とは奥様の速懐。

(変 更)

長尾悦子 桜山A支部より桜山B支部へ、

(入 △△)

(逗子A支部) 柳町志げ子 逗子市山ノ根三十五

(電) 〇四六八一七一一四一四〇

千葉 とみ 〇 逗子二一二

(逗子△支部)

山崎ヒフミ 逗子市逗子二一二

飛田 興子 横須賀市池上七四七

(電) 〇四六八一五二一五九六〇

森 久子 逗子市小坪下十九二

(電) 〇四六八一七四八八六

一柳 リツ 〇 〇四六七一三五七九五

(桜山△支部) 草柳みの子 〇 〇四六七一三五七九五

(電) 〇四六七一三五七九五

横山 好美 〇 〇四六八一七一一二四六八

(電) 〇四六八一七一一二四六八

荒木アイ子 〇 〇四六八一七一一三三三五

(電) 〇四六八一七一一三三三五

細萱 〇 〇四六八一七一一三三三五

(電) 〇四六八一七一一三三三五

(沼間支部) 小林 克美 葉山町下山口二四三六

〇四六八一七五一一七八六七

(退 △△)

278 長島照泉 41 安達寿一